

四国愛友会会報

第 84 号
5 年 10 月



目 次

NTTグループ会社とNTTの現状.....	2
NTT常務取締役 西村守正	
NTT日より.....	4
CS活動からCS経営へ	
共済年金事業の決算概要について	
私は今.....	6
サークル日より.....	10
電電徳島健歩会 河野幸雄	
テルウェル日より.....	11
余技作品展のご案内	
家庭介護者教室の開催	
家庭介護者交流会の開催	
心身障害者(児)の方々へのお見舞金	
敬弔.....	11
余栄.....	11
健康のページ(NTT松山病院院長)	
俳句.....	13
お知らせ.....	14
表紙の言葉.....	14

『NTTグループ会社とNTTの現状』

NTT常務取締役
グループ事業推進本部長

西村 守正

本稿は、平成五年七月八日に行われた電友会本部の第四回評議員会のあと、西村常務取締役を講師として行われた講演の概要です。

電友会の皆様が、いろいろな形で、NTTの事業運営にご理解とご支援をいただいておりますことに、先ずはお礼を申し上げます。

さて、NTTのグループ会社をサポートするという立場から、これらの会社の現状を説明するとともに、最近、新聞等で話題となつておりますNTTの経営問題、特にこれから正念場を迎える料金改定等について説明し、ご理解を得たいと思います。

平成四年度末現在で、NTTグループ会社の総売上高は一兆六、三六八億円、ドコモ（平成四・七・一分社化）を含めていることもあって、前年度に比べ、三、九五三億円と大きく伸びておりますが、会社数は、一五八社から一三五社へと減少しております。

これは、NTTファシリティーの設立に伴う既存会社の合併や、ある会社のNTT都市開発(株)への株式譲渡などの良い意味でのリストラクチャリング（事業再

構築）によるものです。

バブルの崩壊に伴い、一般の会社でも再構築が行われていますが、特にNTTの場合、昭和六〇年の民営化に伴い投資活動の枠が外され、そこで先ずは会社を作れと、何でもかんでも会社を作ったという経緯がありますが、現在、第二ステップの段階になってしみじみ思うのは、最初の着想に無理があつたのかな、或いは、途中で先を見通してカーブを切れば良かったのかなと思うものがあります。私としては、赤字だから株式を譲渡する、赤字だから合併するという短絡的なものでなく、赤字も黒字も両方持つていただし、両社とも元氣が出るような形で、再構築をやるべきだろうと思つています。

グループ会社全体の経営について、個別には問題なしとはいいませんが、トータルとして売上高が一兆六、三六八億円、経常利益が三九五億円と右上がりで、うまくいっているといえます。

グループ会社全体の社員は、NTTからの出向者一五、五〇〇人、転籍者八、八〇〇人、自社採用六、五〇〇人の合計約三万人強ですから、NTT本体に比べ、一〇％強の社員で二七・二八％の売上げとなっております。

次に、NTTの現状ですが、去る二月二十六日、児島社長は、平成五年度の事業計画を発表した際に、次の三つの重要な態度表明を行いました。

一 NTTは、厳しい経営状況の中にあつても、電気通信の世界のリーダーングカンパニーとしての役割を果たしていきたい。

二 現在の料金体系は、独占時代のままの形で続いており、コストに見合わない極めて政策的な料金体系となっている。長距離で儲けて地域の赤字を埋めるといふことは、独占だからできたのであつて、競争が激しくなると、その歪みも限界にきているのでこれを是正したい。

三 料金値上げという短絡的な施策だけでなく、経営の合理化も実施していきたい。

以上の三点ですが、一(一)として、NTTの役割は、国民に対し、電話サービス等の良質かつ安定的提供を中心として、高度化、多様化するニーズに応える多彩な新サービスを加味したユニバーサル・サービスを提供すること。一(二)として、いわゆるR&D（研究と開発）を、技術開発部或いは基礎研究部を中心として継続していくこと。一(三)として、NTTの技術力と人材を活用して、世界各地の電気通信のコンサルタント、ネットワークの設計・施工、オペレーターینگ等を引き受けていることなどがありません。

二の料金体系の歪みが限界にきていることについて更に説明を加えますと、市内通話が四〇八億円、基本料が一、九〇一億円、公衆電話が二九七億円、番号案内が一、七三二億円の損失（赤字）となっており、ローカルサービスは合計で四、三三八億円の損失（赤字）となっています。

一方、市外通話の方は六、七九八億円の赤字ですから、ローカルサービスの赤字をこの赤字分から差し引きますと、僅か二、四六〇億円しか残りません。因みに、平成四年度の経常利益は、二、四八八億円ですから、市外通話とローカルサービスの差が、NTTの決算をほぼ決めてしまっているということです。

平成二年、NTT分割論については五年後に見直すことが決定された際、NTTは、長距離事業と地域事業の収支を明確にすることなど一三項目を宿題とされたわけですが、そのうちの事業部別収支が、六月三〇日に初めて公開されました。

先ず、業務範囲の定義ですが、地域事業の範囲は、県内に終始する市外通話、市内通話及び専用線とし、長距離事業は県と県にまたがる市外通話としました。この新しい定義での事業部収支の状況によれば、地域事業部の経常利益は一、七五七億円の赤字、長距離事業部は四、五七七億円の赤字となっています。

ここで地域事業部の赤字が、先程説明した四、三三八億円の赤字より少なくなっています。これは、県内の市外通話

の赤字部分で薄められるからで、逆に、長距離事業部の六、七九八億円の赤字が、県内の市外通話を地域事業部に持つていられる分だけ減少し四、五四七億円となっています。

今回、公衆電話料について値上げを申請しましたが、全収入約五兆円の中の約三千億円（五、六％）について二割程度の値上げですから、公衆電話料金の改定は有り難い話ですが、電話料金体系の見直しの中で、突破口になるかどうか心配なところではあります。

諸先輩やお客様から「公衆電話料の値上げはよかつたね」とか、「市内通話料は上がるのですか」等と聞かれますが、電話料金体系の改定については、全く厳しいのが現状です。

今回、事業部別の収支を開示しましたが、これを契機として、ローカル料金をどう見直すか、NCCとの接続料をどう決めるかということがスタートするわけではあります。

特に、一〇月以降といわれているNCCのエンドエンド料金の導入の問題があります。こうなるとNTTが完全に不利になるので、先ずは市外通話をキヤッチアップしたいと要望しています。

現在、最遠距離通話料金は二分換算で、NTTは二〇〇円、NCCは一八〇円となつていますが、その差二〇円をぜひ縮めたい（このことをキヤッチアップといっています）と考えています。

市外通話のキヤッチアップとNCCと

の接続料の決定、そしてローカル料金の見直しの三点が果たしてうまくいくかどうか、まさに正念場に来ているのが料金体系の問題です。

その三の経営の合理化ですが、NTTは民営化以降、サービスの向上を図りながら平成四年度末までに、支店を一、六〇〇店から二、三〇〇店（GPU）へ、機械保守局を一、三〇〇から三五〇へ合理化するなど、社員数も昭和五年度の三三万人を、平成四年度末で二三万人へ、更に平成八年には二〇万人へもつていこうとしています。

今後の合理化の取組としては、二〇万人体制の早期実現、新たな合理化計画の策定と実行、営業窓口の統廃合、保守拠点の集約、番号案内業務の見直し、CUSTOM（顧客サービス統合システム）の導入などがあり、その実効をあげるために、配置転換、退職促進、採用の抑制などに取り組み、社員のスリム化を進めようとしています。

以上、児島社長の三つの態度表明を中心に、NTTを取り巻く厳しい現状について説明しましたが、料金体系の改定は、外部との交渉や認可がからむことでもあり、これにNTT内部の合理化をセットとして実施していくのは、極めて厳しい状況にあり、新聞論調などは、なかなか厳しいものもあり、このような現状についてご理解いただきたいと思えます。

最後に、NTT本社的大幅な組織変更について説明しますと、今回は本社だけ

で、各支社には影響はありませんが、総合企画本部を廃止し、営業部門を「営業本部」と「法人営業本部」とし、それを支えるサービス開発を行う「サービス生産本部」及び「研究開発本部」の四つの体制とします。

サービスの充実をはかりながら、最大の経営課題である料金体系の見直しを急ぎ、赤字転落覚悟で料金格差解消のための市外電話料金の大幅値下げにも挑戦していくこととなります。

以上のようなNTTの決意についてご理解をいただき、引き続きご協力とご支援をお願いしまして、私の話を終わりといたします。

NTTだより

CS活動からCS経営へ

平成四年度に高知県にPOIが設置されたことよって、四国全域がNCCとの競争エリアとなり、日を追って競争は激化しています。

現在、四国における市外通話のシェアは約七〇%程度であり、激戦地域では既に五〇%程度にまで悪化しているものと推定されます。その影響を受けて、平成四年度の四国の収支は、三四九億円の大幅赤字経営となっています。

今後の競争の展望としては、NCC側のエンドエンド料金（端末から端末までの料金の設定）導入問題と、NTT側の

料金キヤッチアップ（NCCと同料金にする）作戦や新足回り料金（ローカル料金）等の見直しの問題が想定されます。したがって、当面は料金の値下げ競争が続くことが予想されますが、やがてはサービスの質と選択的料金が競争上の手段となっていくことが考えられます。

一方、電電公社時代から継承している料金体系においては、競争となっている市外料金の赤字で、基盤的なローカルサービス（市内通話料、基本料、番号案内、公衆電話）の赤字を補填するという構造的な問題をかかえています。

こうしたサービス間の収支構造上のアンバランスを改善し、コスト構造に見合った料金体系に是正する料金リバランスングを実施する必要があります。

しかし、ローカルサービスの確保、受益者負担の徹底等の観点から、必要な料金リバランスングを実行して、NCCからシェアを奪回し維持していくためには、地域の皆様のご理解をいただくことが不可欠となります。

このため、いわゆる「あまねく公平な」ユニバーサルサービスの是もとより、あらゆる方面のあらゆる部門におけるサービスの品質の向上が、四国にとって最重要経営課題となります。

そこで、これまでに取り組んできたオプション活動に始まる業務改善活動によるサービスの改善のステップを、今度はトピックス活動（お客様満足度の向上・CS活動）にまで高め、「NTTはサービス業

である」ことを十分に認識して、企業理念の「最高のサービスの提供と信頼の確保」を真に実現するために、会社第一、お客様第二からお客様第一、お客様中心への意識転換を図り、更にCS活動からCS経営（お客様満足経営・お客様の満足を組織的に創りつづける経営）へと進展させていくことにしています。

（四国支社企画部）

平成四年度の共済年金事業 決算の概要について

NTT共済組合

平成四年度のNTT共済年金事業の決算の概要等についてお知らせいたします。

☆共済組合員数と年金受給者数

平成四年度末における、共済組合員数（共済年金制度に加入している組合員数。以下同じ）は二六五千人となり、前年度末に比べ約六千人減少しました。

一方、年金受給者数は、前年度に比べ約六千人の増加となり、一四八千人となりました。

これにより、組合員数に対する年金受給者数の割合（年金扶養比率）は、一・八人となり、現役一・八人で一人の年金受給者の方を支えている勘定となっています。

なお、共済組合員数及び年金受給者数等の推移は、表一のとおりです。

☆主な財源とその内訳

年金事業の財源は、組合員の掛金、事

共済組合員数、受給者数等の推移

(単位：千人)

年度 区分	昭 和 63年度	平 成 元年度	2	3	4
組合員数	290	281	276	271	265
受給者数	120	129	136	142	148
年金 扶養比	2.4	2.1	2.0	1.9	1.8

*年金扶養比率は、年金受給者1人を何人の組合員で支えているのかの割合

業主（N T TとN T Tの子会社のうち共済組合制度の適用を受ける会社）の負担金、国庫補助金、基礎年金交付金及び積立金の運用収益等からなっています。平成四年度の収入総額は四、三〇二億円となり、前年度に比べ二〇億円、〇・五%の増加となりました。

(一)掛金及び負担金
掛金収入は八七五億円となり、前年度に比べ一・一%の増加となりました。事業主負担金については、掛金収入と同額を負担することになっており、八七五億円を、更に、追加費用が九六八億円あり、合計で一、八四三億円となりました。

(追加費用とは、昭和三二年七月の公共企業体職員等共済組合法が施行される前の組合員期間にかかる費用のこと、現在積み立てられている積立金にはその分が含まれていないため、必要な額を事業主（N T T及びN T Tデータ等）が負担することになっています）

(二)国庫負担金
国庫負担金として、二三九億円を国庫から受入れました。受入れ金額のうち一七四億円は、当共済組合が支出する基礎年金拠出金の三分の一に相当する額となっています。

(三)基礎年金交付金
基礎年金交付金として、三二五億円を国民年金の基礎年金勘定から受入れました。

本来、基礎年金は国民年金から年金受給者に支給されるものですが、昭和六一年四月の基礎年金制度の導入前から退職年金等の支給を受けている方については、国民年金から基礎年金は支給されず、これらの方の基礎年金に相当する部分については、N T T共済が支給することになっており、この部分の費用を基礎年金勘定から受入れたものです。

(四)積立金の運用益
年金資産（積立金）の運用益は一、〇二〇億円と、全収入の約二四%を占めています。

この運用益の多寡が年金財政に大きく影響しますが、昨今は低金利時代の影響を受け、運用益を確保するのが難しい状況が続いています。

☆支出の内訳
主な支出は、年金等の給付金、基礎年金拠出金、被用者年金制度間の調整拠出金となっており、平成四年度の支出総額は三、六七二億円となり、前年度に比べ二一六億円、六・二%の増加となりました。

(一)年金等の給付金
退職年金や退職共済年金などの給付金の支払額は三、一〇五億円となり、前年度に比べ一七三億円、五・九%の増加となりました。

なお、退職（共済）年金の平均年金額（月額）は二一五千元となっています。

(二)基礎年金拠出金
基礎年金拠出金として、五二三億円を国民年金の基礎年金勘定に払い込みました。

基礎年金の費用は、各公的年金制度がその加入者数に応じて負担（賦課方式）しており、共済年金と厚生年金では、加入者分とその被扶養配偶者分を負担しています。

この基礎年金拠出金の三分の一に相当する額は、国庫負担により賄われています。

(三)制度間調整拠出金
被用者年金制度間の調整拠出金として、二四億円を拠出しました。

この拠出金は、各被用者の年金制度（N T T共済年金をはじめ、各共済年金や厚生年金などサラリーマン等を対象とする

収支状況等の推移

(単位：億円)

年度 区分	昭和 63年度	平成 元年度	2	3	4
収 入	3,581	3,950	4,178	4,282	4,302
支 出	2,909	3,129	3,255	3,456	3,672
収支差	672	821	923	826	630
積立金	16,361	16,981	17,691	18,295	18,686

年金制度)間で財政調整を行うためのものです。

(四)収支差と積立金の資産運用

平成四年度の収支差は六三〇億円で、前年度に比べ一九六億円減少しました。

また、年度末における年金資産は、約一兆八八六億円で、前年度に比べ三九一億円増加しました。

積立金の運用の中心は、債券を主とする有価証券等ですが、その他、社宅、病院、保養所など共済組合員の福利厚生施設のための不動産(投資不動産)や、共済組合員が住宅を購入するための資金を融資する貸付事業など、共済組合員への

福祉還元を目的とした資産にも運用されております。

なお、最近五年間における収支状況と年金資産の推移は、表二のとおりです。

私は今

◇ 荒井 重範 (高松)

テルウエルの囑託でN.T.T.の監視員になり、五年目に入りました。

勤務の都合上、昼間自宅に居る時が多いので、週二回、文化講座を受講するため、社会保険センターへ通っています。

講座は郷土史と切り絵の二科目です。

切り絵は六〇の手習いで、全く絵心のない私ですが、楽しみながら頑張っています。

少年期より病弱だった私も、一病息災で無事子育てを終え、これからは自分だけの人生。一日一日を大切にしたいと思っています。

◇ 池田 章一 (松山)

退職後、民生委員と少年補導委員を仰せつかり、少しでも世の中のお役に立てればと思ひ、七年目になりますが、今も元気で続けています。

また、楽しみの一つとして、妻と二人で、毎年一、二度は何処かへ旅行しようという事で、旅行会社のパンフレットを参考に旅行することになっています。

先ず手始めに九州一周。それから北海道、東北、北陸、和歌山方面へ。更に足

を伸ばして沖縄へ行つて来ました。

海外旅行はヨーロッパ、アメリカ、カナダ、シンガポール等七カ国を旅行。その国の風土、素晴らしい伝統文化などに接して、日本の良さ外国の良さを見聞きし、次の旅行を楽しみに人生をエンジョイしています。

◇ 岩倉 正徳 (琴平)

会員の皆さんお元気ですか。町老人クラブの三カ年計画による、「四国霊場と高野山参拝の旅」に参加し、平成五年七月に満願の日を迎えました。(私は三回目)参拝者との交流、難所での励まし、助け合う心が如何に必要であるかを、つくづく感じました。

老人会員となり、老人大学の大学課程コースを受講中です。(二回生)

健康・長寿・幸福を目標とした、ゲートボールの練習日には、老人ボケ防止対策と思つて、楽しくやっております。

先輩老人たちとの交遊をモットーに、人との和を大切にしながら、楽しんで幸せな人生を生きたいと、思っている今日この頃です。

◇ 上田 幸夫 (松山)

公社を退職し、二回目の職場も退いてから三年が経ち、ただ時の過ぎ行く早さに驚くばかりです。

N.T.Tも民営移行と、目まぐるしい変遷を経ての競争時代の中で、大変なことだなーと思つている次第です。

私は健康に恵まれ、現在は町内の事や老人クラブのお手伝いをして、地域の皆さんともコミュニケーションを図りながら、楽しい日々を送っております。

また、農協から借りた農園に、四季を通じて折々の野菜を作り、育てることの楽しみも味わっております。

皆様のご健康とご多幸を、お祈りいたします。

◇ 植田 茂 (高松)

第二の職場、テルウエル時代から香川の会員有志によるゴルフ同好会(八一会)のお世話を始めて、早六年になります。

会員は現在八五名ですが、毎年新規加入が数名ありますので、間もなく一〇〇名になるのではないのでしょうか。

コンペは、毎月一回行っています、毎回四、五〇名の参加がありますので、かなりの規模になります。

ゴルフ場の予約、会員への案内、当日の運営、記録整理などの後始末等々で、結構手数がかりますが、会員の健康増進と相互の親睦を図るために、楽しみながらお世話をしています。

何よりもコンペが待ち遠しいと思っっている会員の方々の喜んでくださる顔を見ると、苦労もフツ飛ぶというものです。

今後何時まで続けられるか分かりませんが、出来る限りお世話させてもらいたいと思っっている、今日この頃です。

◇ 大田 佳代 (高知)

いつの間にか喜寿を迎える年になりました。

お蔭様にて、今のところはお医者様のお世話にならずに過ごしております。

実は、昨年、夫が病気で入院し、退院後は寝たきりにならないようにと、目下家庭介護にあたっておりますが、少しずつ良くなる姿が見えてまいりましたので、ほっとしているところです。

常日頃、健康に留意しております、こうして相手が病の床につきますと、今更ながら「老い」というものをしみじみと考えさせられます。

ともすれば暗くなりがちな心を、庭の草木や花々に慰められている、今日この頃でございます。

◇ 大西 徳雄 (善通寺)

退職して早五年が過ぎ去りました。

生まれた土地で、生まれたときの家業である米作りなどを続けています。

他に、近くにできた森林公園の維持管理やJAのお手伝いをしてますが、新たに知人もできて、何か世間が広くなったような気がしています。

五年振りに再訪予定の大好きな中国が、どんな顔で迎えてくれるかと、目下最大の関心事はそれです。

また、子供より始末が悪いことに、新幹線があります。何回見ても飽きません。

それで妻と、時々、乗りに出かけます。

喜ばば喜びごとが喜んで、喜びつれて喜んでくる。これを肝に銘じながら健やかに暮らしたいと願っています。

皆さんお身体を大切に。

◇ 大西ハルミ (丸亀)

退職して一〇余年。現在、私は毎月の一日を大切に、近くの神社、三社をグループで参拝しています。

朝の清々しい参道は静まりかえって、出合った参拝者と交わす挨拶にも親しさが湧いてきます。家内安全の祈禱を済ませた後は、粟島神社の御堂を拝借して般若心経を唱え、お参りのお開きにしています。

最近趣味の編み物も負担となつて、近所の人達とカラオケを始め、今は町内でカラオケ愛好会をつくり、年に二回は近くの公民館で発表会を実施して、町内の皆さんにも参加して頂き、下手な唄を聴いてもらうなど、明るい町づくりに励んでおります。

健康にも恵まれ、毎日の生き甲斐として、今後も続けていくつもりです。

◇ 大原 進 (松山)

退職してからもう一〇年が経ちました。病院へ通いながら何とか過ごしている状況です。電友会会報が来ても、真先に敬甲欄を見るようになりました。

退職と同時に町内の世話役を仰せつかり現在に至っていますが、もう喘ぎ喘ぎというところで、交代を申し出ています。

がなかなか思うようになりません。

毎年二、三回は公民館関係や広報関係

等で研修旅行に行く機会はありませんが、糖尿病を持ってるので参加することが出来ず残念至極です。退職後三回目の八八カ所巡りと、娘夫婦に孫と五人で、伊勢、志摩、南紀へ三泊四日の旅行をしたのが唯一の旅です。

ボケ防止にと娘が送ってくれたワープロと遊んだり、ボケ防止観音に参拝して、色即是空の日々を送っています。

健康のありがたさをしみじみと感じているこの頃です。

◇ 岡村 剛 (高知)

退職後若干体調を崩し、周囲の理解に支えられ、日々を気儘に暮らしています。先日、新婚旅行以来初めての夫婦二人の北海道旅行を楽しみました。

景色は壮大で食べ物もおいしかったのですが、計画はツアーを頼り、何事もお仕着せで冒険心はかけらだに見当たらず、旅行中体のあちこちにひずみを感じ、年齢を自覚させられる旅でもありました。今後は、日々体を鍛えて行動半径を広げ、ますます闊達な老人たらんと念じています。

◇ 岡本 保次 (内海)

私が住む町は、人口一万五千人の小さな町。つくだ煮、醤油、そうめんが主な産業である。

定年後の生きがいと健康のために、農協が推奨する、オクラ、菜の花、にんにく等を年間を通して、生産、出荷してい

る。

現在、オクラの出荷中で、朝の五時に起床して田んぼへ。約六時間かけてオクラの摘みとり、袋づめを行う。それから農協集荷場へ持って行く。午後四時から、また二時間、摘みとりを行って一日が終わる。

なんといっても規則正しい生活が出来るのが何よりである。だが、いまどきの若い人たちには、どうかと思いつながら、オクラとりに励んでいる。

◇ 柏田 良和 (松山)

退職して早八年、悠々自適ながら生き甲斐を求め、充実した生活を送っており、健康にも恵まれ感謝しております。

松山市にシルバー人材センターが発足したとき早速入会し、松山市立図書館の図書整理を手伝って約五年。健康にもってこいの作業です。ここでは地域会員とのパイプ役としての接触も行っていますし、町内の老人クラブでは、役員として近隣者とも接触しております。

また、趣味の一つとして謡曲を始めて三〇数年、まだまだ未熟ながら、最近は四国外の大会にも参加しております。

◇ 門田 正夫 (高知)

長年の不摂生のツケとして、肥満体となり、ズボン、シャツ等が合わなくなつたので、断食による体質改善を思いつき、不安と期待を抱きつつ、大正七年に創立された奈良県生駒山の断食療養所へ行

き、一〇日間の断食を行った結果、体重は六二キログラムから五五キログラムになり、七キログラム減の成果がありました。五〇キログラムを目標にしていたので、二カ月後に再度一〇日間の断食に挑戦し、四七キログラムになりました。

帰高後の健康診断では、血圧、肝機能、胃機能、脂質、貧血、血糖値など全て正常値で、予想外の効果に驚いています。

その後は標準体重を超過することに、自宅で妻の協力を得て、数日の断食を実施しており、肥満を防止し畑作業で体力の増強を図っている今日この頃です。皆様もご健康で……

◇ 金清 道保 (善通寺)

階下で何かを刻む音がする。様子を見に行くと、母(八五歳)が味噌汁の具を用意している。時刻は真夜中。午前〇時三〇分を六時と間違えたものだったが、いわゆる「ボケ」が始まったのかと一瞬覚悟した。

現在、異常は無く、今朝は畑でナスの側枝の切り返しに汗を流している。

妻が入院の付き添いで宿泊することがあること、また、近日中午に早朝の墓地清掃が行われること等から、朝食は私が作ってやらねばとの親心からの行為であり、心から感謝している。

退職六年目。第二の就職もせず、三〇数年一人暮らしの母のもとに帰り、大学生向けのささやかなアパートを建て、約一〇アールの菜園と月二回のゴルフ及び

自治会の会計係を生業としている。
市民ハイキングに参加し、昨年は黒部へ、今年は奥志賀高原を歩いて来た。まだまだ元気と思っている昨今です。

◇ 菊池 恭三 (松山)

我が家は目下清貧生活中。好む好まざるはさておき、我が家は目下清貧生活を実行中である。

日本経済の繁栄も、孫たちの時代まで続くとは考えられない。今の豊富な物資と飽食の時代に染まった孫たちに、成しがたいことだが、清貧思想をプレゼントするのも、意義あることではないだろうか。孫たちは、私の清貧思想をケチとして受け止めるかも知れないが、近い将来、きっと正しかったことを理解するだろう。そうして私同様、実行してくれるものと思っている。

◇ 木内 康雄 (松山)

娘二人は嫁ぎ、今は家内と二人暮らし、上の娘夫婦と孫二人が近所にいるので、結構にぎやか。仕事は卒業したが、ある会社の顧問をしており、時々会社の波風を感じている。

ゴルフは道後ゴルフで3D会、S T Tに参加する程度になったが、今一番興味があるのは、二年間通った絵画教室の野外スケッチに参加する楽しみである。

今年春は仲間と沖繩へ旅行。また、機会があつて韓国へ旅行をして、戦後の歴史の大きな流れを観ることができた。

家内とは二月に足摺椿祭りと四万十川の旅で南国の雪景色に遭遇。八月は富士登山ツアーに参加したが、九合目小屋で豪雨に遭い、登頂を断念。今年は異常気象と残念がついている。

昨今は、生涯学習のなかに仲間や楽しみを見出している。何か得るものがあればと思ひながら…。

◇ 島 雅生 (須崎)

入院生活三カ月余、帰宅すると、「投稿のお願い」、少々タイムミスが悪いのではと思ひましたが、素直に書かせていただくことにしました。

これまでの日課は、毎朝七時前に起床してパンでの朝食。九時まで新聞、テレビを見てから一時間郊外へウォーキング。コーヒータイムの後、昼食までは「中国語講座(高知へ週一回通学)」の予習と復習。そして夕方にもう一度三〇分のウォーキング。九時半頃の就寝で結構暇な事です。

この他に、週に一、二回、社交ダンスのレッスンを受けてたり、暇をみてはアマチュア無線を運用しています。誰かと空中でお会いするかも知れませんがね。コーサルサインはJ E 5 G Y Gです。

この日課も鮎釣りシーズンには全く通用せず、川にいる日が多くなります。これからは、しばらく充電をして、今まで以上に健康に注意し、有意義に過ごしたいと思ひています。

◇ 上甲 サチ (高知)

退職して早くも三年、憧れの専業主婦をやっています。

昨年は、松山のN T T病院で手術を受けましたが、経過は良好で、好きな絵を描いたり、七月には、念願の北海道団体旅行に参加しました。

団地の奥さんに誘われて、近頃、コーラスを始めました。美しいハーモニーに感動しております。(私は間違えばかり歌っています)

楽しい事があれば心から楽しいと思ひ、美しいものには美しいと素直に感動できる、感性豊かな日々を送りたいと願っております。

◇ 中山 和 (高知)

早いもので退職して、一〇年余りになりました。紹介していただいた仕事を一〇年も務めましたので、完全に仕事を離れましたのは今年からです。

お蔭様で至って元気で、地域の皆さんのお役に立てばと、町内会長など五指に余る肩書を付けてもらって、落ちつく暇もありませんが、毎日頑張っております。

家内と二人で旅行もしましたが、孫が生まれてからはさっぱり機会に恵まれません。人並みに孫を甘やかしながら、じいちゃん馬鹿を続けております。

何といつても健康が第一ですが、確実に年は重ねて行きます。還暦を過ぎますと年の数ではない様で、八〇歳が七〇歳

よりずーっと元気だったりします。皆様のご健康をお祈り致します。

◇ 橋田 信男 (南国)

專業農業で頑張っています。

主に稲作ですが、他に一五〇坪のビニールハウスで野菜(主としてトマトと胡瓜)等を作り、自家良心市、農協木曜朝市組合に出品して楽しんでます。(朝市会会長)

旅行が好きで、今までにアメリカ、カナダ、韓国済州島に行き、昨年はインドネシアのバリ島へ行って来ました。

趣味としては、月に二回ぐらいカラオケ道場へ行き、気晴らしに歌っています。元気で頑張っています。

◇ 松本 桂子 (西条)

一年間の嘱託を終え、天下晴れての自由時間がいっぱい。

老け込むには早過ぎる。「何をしようかな」。成人病の赤信号が灯る家族のいることだし、まず食生活からと、栄養学級料理教室の生徒となり、食塩の摂取は一日一〇グラム以下などの講義を受け、減塩料理ヘルシー料理に挑戦しています。

豆腐とスキムミルク入りのハンバーグを、高校生の甥に「美味しいよ」と褒められ、専業主婦一年生は此事雑事に追われながら、充実した日々を送っています。

◇ 渡辺 蔵雄 (王生川)

平成元年四月に退職し、昨年から公民

館へ勤めさせて頂いております。

ここでは地域の老若男女とのふれあいがある、ユニークな情報や各種のイベント・学習等で結構忙しく、教えられることの多い毎日です。

休日は、妻と約四〇アールの果樹園で汗を流していますので、好きな釣や遠征旅行は出来ません。OB会や同級会、JA等の国内小旅行で辛抱しています。

また、ボケ防止も兼ねて、俳句、カラオケを妻と共に(濡れ落ち葉ではありません)サークルで習っております。

今日は、地区のおかげん(管絃夏祭)です。松山から孫がやって来て、賑やかな一時を過ごしました。

サークルだより

電電徳島健歩会

河野 幸雄 (小松島)

「歩くことにより、常に明るい精神と、健康な身体を保持するとともに、会員相互の親睦をはかる」ことを目的として、昭和五三年九月に発足した電電徳島健歩会も、今年は一五周年を迎えることになりました。

発足当時の会員数は二三名でしたが、現在は一〇六名となり、益々盛会というところ。特に女性の会員が大幅に増加して、現在五二名にもなりました。

毎月一回の行事参加人員は三一名(平

成四年度)で、年々増加しています。

昨年度及び今年度の主な行き先は、阿南一三仏参り、船窪のつっじ見学と高越寺参り、徳島市内の七福神参り、剣山登山、八多の五滝見学と如意輪寺参り、大谷焼見学と阿波神社詣で、大龍寺参り、四国八八カ所六番九番参り、徳田寺のシャクナゲ見学、鶴林寺参り、森林公園、山麓文化の道等のほか、年に一度は一泊旅行を行っています。

今年度は来年の一月に、今治周辺及び南予の札所参りを行います。歩行距離は約七キロです。

歩くことは、高血圧、心臓、糖尿等の成人病の予防になるといわれています。

また、「気晴らし、気分転換」にもなりますので、ストレス解消の面でも効果があります。

新聞紙上等で「毎日一万歩以上歩こう」の記事が最近目につきます。老化は足からやって来るといわれます。それで高齢者には、歩くことが重要になってくるのです。

皆さん、共に楽しく明るい人生を送るために、森林浴をしながら、「四国のみち」を歩き、老後の健康管理に努めようではありませんか。

なお、松山と高松に歩く会があると聞いています。将来は地域の名所旧跡等について情報交換を行い、交流の輪を広げ、楽しい思い出の出来る健歩会にしたいと願っておりますので、その節はよろしくお願い致します。

テルウエルだより

余技作品展のご案内

テルウエルでは、退職者の皆様がそれぞれの地域や団体において行っている文化活動を支援するための施策の一つとして、この度、愛好者の方々のご協力を得て、左記のとおり「NTTOB余技作品展」を開催することとしました。

今回の作品展は、日頃の錬磨の結晶である素晴らしい作品の数々を、少しでも



大谷焼見学(平成4年12月6日)

多くの人に鑑賞していただくとともに、合わせてショートステイ施設を見学していただくため、先般開設した「ショートステイ・テルウエル愛松園」を会場としました。
皆様お誘い合わせのうえ是非ご来場くださいますよう、お待ちしております。

記

一 開催期間

自 一〇月一八日(月)
至 一〇月三一日(日) (二週間)

二 開催場所

ショートステイ・テルウエル愛松園
松山市喜与町一八(NTT松山病院前)

三 展示作品

絵画、書道、写真、陶芸、手芸、版画、俳句・俳画等

NTTグループ退職者・現職者のための「家庭介護者教室」を開催します

高齢化社会を迎え、寝たきり老人等の介護は家庭にとって大変重要な課題となっております。

テルウエルでは、平成元年度から家庭で出来る、寝たきり老人等の基本的な介護知識や実技を修得するための「家庭介護者教室」を日赤各県支部等のご協力を得て、毎年開催しており、これまでに延べ三九四名の方が参加され、好評を博しております。

つきましては、本年度も次により開催するよう計画しておりますので、NTTグループの退職者をはじめ、現職者の方々の多数の参加をお待ちしております。
なお、各県での開催は次のとおりであり、詳しいことは、テルウエル四国支部福祉センター又は最寄りの営業所へお問い合わせください。

家庭介護者教室

○開催日時・場所			
▷松山市	11月1日(月)	13:00~17:00(第1回)	NTTプラザ松山
	11月15日(月)	13:00~17:00(第2回)	NTTプラザ松山
▷高松市	10月14日(木)	13:30~16:30	NTTプラザ高松
▷徳島市	11月17日(木)	13:00~17:00	徳島県医師会館
▷高知市	10月4日(月)	13:30~16:00(第1回)	日赤高知県支部研修室
	10月5日(火)	13:30~16:00(第2回)	日赤高知県支部研修室
○実施内容			
寝たきり老人等の家庭内で出来る介護知識の修得、及び介護者として一定の役割を果たせる実技習得を目標とします。			
○お問い合わせ先・お申込み先			
テルウエル四国支部			
福祉センター	0899(34)7294	香川営業所	0878(23)0294
徳島営業所	0886(55)0294	高知営業所	0888(85)2941

在宅介護者の方々に一時の安らぎを「家庭介護者交流会」を開催します

テルウエルでは、寝たきり老人等を抱え、日夜介護にあたっておられる方々に、

敬弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

氏名	死亡年月日	享年	所属
大西 寅彦様	5・6・15	80	高松
高曽根照雄様	5・6・22	74	小松島
中村 茂様	5・6・22	63	宇和島
真鍋 義久様	5・7・5	68	丸亀
二宮 和夫様	5・7・9	67	宇和
村上 季隆様	5・7・20	88	松山
森尾 房代様	5・8・5	64	高知
藤沢 正男様	5・8・10	62	鴨島
西山 留吉様	5・8・12	69	坂出
佐藤 進一様	5・8・17	73	松山
西本 雅猪様	5・8・21	90	高知
小松 由明様	5・8・26	69	阿南
菊池チエ子様	5・8・31	62	松山
竹田 輝豊様	5・9・3	78	松山

前回、白石保様（高松）とお知らせしましたが、白井保様（高松）の間違いでした。謹んで訂正させて頂きます。

余栄（死亡順）

- 従六位 栗田 信雄様（松山）
- 故 正六位 磯岡 芳明様（松山）
- 正七位 故 高曽根照雄様（小松島）
- 故 正七位 高曽根照雄様（小松島）

一時でも休養していただき、お互いの苦労話を交換する集まりを、次により開催することにしております。
 今回は特に、「介護を受けている方々」を「テルウェル愛松園」にお預かりし、ゆっくりと交流を深めて頂きたいと計画をしています。
 参加ご希望の方は、四国支部福祉センターへお申し出ください。

家庭介護者交流会

- 開催月日 11月18日(木)～19日(金) 一泊2日
- 開催場所 松山市末町NTT奥道後保養所 TEL0899(77)0411
- 日程(予定)
- 18日(木) 13:00～14:30 テルウェル愛松園にて受付・休憩
- 14:30～15:30 テルウェル愛松園見学
- 16:00～17:00 意見交換・経験発表(奥道後保養所)
- 17:00～18:00 入浴
- 18:00～19:30 懇親(夕食)
- 19日(金) 朝食後解散
- お問い合わせ先・お申込み先 家庭介護教室に同じ
- (注)参加にあたってヘルパー等が必要な方は、その旨お申し出ください。

心身障害者(児)の方々に
お見舞金をお贈りします

テルウェルでは、社会福祉事業の一環として、毎年、重度・重症の心身障害者

(児)の方々にお見舞金をお贈りします。昨年度は二七六名の方にお贈りしました。
 該当される方で、これまで受給されてない方は、支部福祉センターか、最寄りの営業所へお知らせください。

●対象者

- 現職者世帯
 NTT、全電通(専従役員や書記)、テルウェルの現役職員の配偶者および扶養している父母又は子。
- 退職者および遺族の世帯
 ご本人が扶養している父母又は子。ただし、有職者は該当しません。

●必要書類

所定の申込書等のほか、次表の書類が必要です。

●お見舞金(一人につき)

- 重度障害者(児)の方 年額三万円
- 重症障害者(児)の方 年額五万円

障害区分	申込書等に添付していただく書類
身体障害	身体障害者手帳(写) ※一級・二級の方
精神薄弱	療育手帳(写) ※A級の方
特定疾患	特定疾患受給者証(写)、または医師の診断書
小児慢性特定疾患	小児慢性特定疾患治療研究認定通知書(写)、または医師の診断書
公害補償健康被害	公害医療手帳(写)
先天性的内臓疾患	育成医療券(写)
精神病	精神病院の在院証明書、またはこれに代わる診断書

健康のページ

心臓の話(その三)
高齢者の循環器疾患の特性をふまえて

N T T 松山病院院長 石戸谷 武



今回は弁膜症についてお話します。弁膜症は昔は心臓の病気の代名詞でもありました。本日は本来の意味での心臓の中の四つの弁の病気に ついて説明しましょう。

ご存知の通り心臓は、四つの部屋とそれぞれに通じる大血管から成り立っており、そこを通過する血液がもと来た方向に逆流しない様に「弁」がついておる訳で、この弁自身の変化が血液の流れを妨げたり、逆流を起こしたりします。

青年期・中年期の弁疾患は原因の大部分がリウマチ熱で、これに引き続いて弁変化が起こり、何年か経って症状が出て来ます。

しかし、高年期に入ってからからの弁疾患は様相が変わります。これは加齢による身体の変化が弁膜にも現われ、弁の硬化や変性が前面に出て来るからであります。その症状は青年・中年期に見られる典型的なものよりも多彩で、非典型的なものも多くあります。

この様なことがよく分かる様になったのは、一つには診断法の進歩によるものであります。従来は、弁の形態、狭窄・逆流の程度から重症の度合まで正確に評価するには、最終的には心カテテル検査法が必要でしたが、今は断層心エコー法に加えて、超音波ドプラー法によって弁疾患の最終診断を得ることが出来る様になりました。

この超音波検査法は、患者さんに何の侵襲もなく、繰り返し何度でも行うことが出来、高齢者にとって最適の検査法であります。

高年になってからの弁疾患で代表的なものは、大動脈弁と僧帽弁の二つであります。

A 大動脈弁疾患

大動脈の硬化は、四〇〜五〇歳までは殆ど見られませんが、六〇歳以上になると、加齢による弁硬化・変性が急増加してきて、六〇歳代の四〇%、七〇歳代の六〇%に見られる様になります。また、硬化例が増えるとともに、硬化の程度も強くなって参ります。

大動脈弁は、左心室と大動脈にあって、三つの弁葉から成っており、正常では左心室拡張のときにはきっちり閉じて、一滴の血流の逆流もありません。しかし、この弁葉の辺縁が加齢とともに肥厚・硬化・変性・短縮等で閉鎖が不完全になり、大動脈から左心室へ向けて逆流が起こることになります。即ち、左心室が拡張する時期に余分の血液が大動脈から逆流して来るので、左心室は必要以上の拡張を余

儀なくされ、機能低下を起こしてくるわけであります。これが大動脈弁閉鎖不全であります。

大動脈弁狭窄の場合もあります。これは左心室の出口が狭くなるため、左心室内の血圧が高くなり、やはり機能低下を招きます。

いずれの場合も、青年・中年期に見られるリウマチ性の変化が激しくて、弁置換術が必要になる症例が多いのに比べると、高齢者の場合はひどさ加減がそんなに多くない様であります。

一般的には、心臓が一分間に送り出す血液量は、青年期のピーク時から見ると、加齢とともに直線的に減少しますが、これに弁の変化が加わると更にその量は減り、体の疲労感や胸痛を訴えることが多くなります。

B 僧帽弁疾患

大動脈弁逆流について多い高年期弁疾患は、僧帽弁逆流であります。リウマチ性の炎症性のものが少なく、変性によるものが多くなります。即ち、僧帽弁逸脱症とか乳頭筋腱索断裂による逆流があります。これらはいずれも超音波検査法でよく診断されます。

この場合は、左心室から血液が左心房に逆流して、左心房の圧、つづいて肺静脈の圧も高くなって、息苦しいとか胸苦しい、或いは、咳が出る等の症状を訴えるのが特長であります。

逆流や狭窄も含めての僧帽弁疾患では、同時に心房細動を認めることも多く、

これに原因があると思いますが、血栓が左心房に出来て、その一部が流れ飛んで脳血管につまることもありしますので、治療が必要になります。

C 弁膜症に対する手術

一般的に心臓疾患の治療について考える時、先ず内科的薬物療法を行い、これで改善が認められず、外科手術で更に改善が期待出来る時に、手術のことを考えるといいでしょう。この場合、自分が手術を受けようとする病院自身のその手術に対する危険率、手術をしなかった時の病気の予後、更に手術後に得られる自分にとっての利点及び不利益な点(合併症等)について細かく主治医の説明を納得いくまで聞き、自分の希望を述べるべきであります。

ただ、弁膜症自体の手術の危険率は、しっかりとった病院であれば、一〜二%以下であり、術式も安定しており、そんな問題になりません。

高年者の場合、「もう齢だから」という漠然とした理由で病床に臥したままでいるよりは、若し手術の適応があり、成算あるならば積極的に手術によって正常の弁機能を得て、残りの人生を質の高いものにした生活を送るのが良いと私は思います。

◎左記の方から原稿を頂いておられますが、紙面の都合で、「随想」欄は休ませて頂きます。

井上政夫 猪谷嘉夫 高市沖見
馬木重美 西原 外

俳句

友佳里俳句会

母の肩流す糸瓜の固きかな

穴吹よしのり

まだ残る若さ稱えて敬老日

上田 南堂

あぢさいや馬籠妻籠坂の町

木下 南海

あるじ病む秋の風鈴舌抜かれ

後藤 波久

また生きてまつ青な空敗戦忌

坂口 好史

草を刈る陽を存分に使い切り

佐々木たけし

少し酔ひ少し飲み足し阿波踊

高本たかし

補聴器に余生を待む夜の秋

玉川 都夢

身ほとりに小さき倅せ秋刀魚焼く

月原 葉子

草原の露嘗の夢や虫すだく

寅岡ひでお

白夜なほこの峡湾に鷗飛ぶ

仲谷あきら

死線越え古希を迎えし終戦忌

松末 子暁

お知らせ

平成五年版会員名簿の発行

平成五年一〇月発行の会員名簿は、一〇月下旬にはお渡し出来ると思います。

編集委員会を開催

去る八月四日、第一回編集委員会を開

催し、会報の編集内容等について検討を始めております。今回、一部の方にはアンケート調査にご協力頂き、ご意見等をお聞かせ願うことになりました。よろしくお願ひします。

・編集委員長 穴吹義教
・編集委員 芳野 運
安芸忠義 鹿庭英世
愛原 章 楠瀬邦夫

表紙の言葉

秋の声 莊野 丹秀(内海)

月夜にこおろぎの声を聞くと、しみじみ深み行く秋の思いがする。あわただしかった今年の夏も過ぎ、心静かな秋を迎えたいものである。

原稿募集

- 一 近況短信(二百字程度)
 - 二 短歌、俳句、川柳
 - 三 サークルの活動状況等(写真可)
 - 四 随想等(八百字程度)
- ×切は一月末日です。会員多数からの投稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第八四号

平成五年一〇月一日

編集発行 電友会四国地方本部

松山市一番町四ノ三

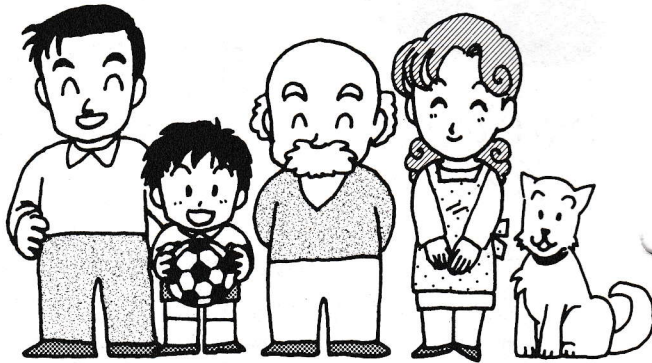
NTT四国支社内

電話(〇九七)三一三三

印刷 四国電話印刷株式会社

電友会会員・ご家族の皆様へ

病気とケガの 備えは万全 ですか？



電友会

生命・傷害セット保険

—ご契約は随時—

この保険のメリット

1. 満75歳までの方が新規にご契約でき、最高80歳まで保障いたします。
2. 保険期間は5年で、5年毎の契約更新が可能です。
3. 一括払いと年払いがあり、満期時には満期金+配当金がお手元に戻ります。
4. ほとんどの病気とケガが対象です。
5. 告知書に記入していただくだけで、医師の診査は不要です。

お問い合わせにつきましては

募集代理店 日比谷会「お客様御相談係 稲森・黒澤」まで御連絡下さい。

フリーダイヤル **0120-118265** (無料)

*お問い合わせ頂きましたお客様には、詳しい資料をお届けしております。

NTTがお得…頑固おやじの主張!



おやじの主張
その1

NTTの市外通話は高い!?

市外通話だってNTTの方が
お得な場合が多い!

市内通話はもちろん、市外通話も90秒以内でしたらおおむねNTTがお得です。松山から宇和島、高知から中村などへの通話は100%お得です。これはほんの一例でお得な例はほかにもたくさんあります。ぜひ一度、フリーダイヤルにてお問い合わせください。



おやじの主張
その2

遠くに電話をかける場合が多い

本当に遠くに電話をかけている?
ご家庭でご使用になる通話の
9割以上が県内通話である

ご家庭でご利用されている通話のうち、県内通話の回数は総通話回数のなんと9割以上も占めています。NTTがお得な場合が非常に多いのです。

※平成3年度通話回数ベースNTT調べ。

お気軽にご相談ください!!

お問い合わせは、次のフリーダイヤルまで(「頑固一徹」ホットライン)

す ぐ ぐ お と く
☎0120-459019 (無料)

※受付時間 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。